

OKINAWA GENERAL CONTRACTORS ASSOCIATION

沖建協会報



令和4年

8
月号

No.627

今月号の主な内容

- ◆ 沖縄防衛局に要請
- ◆ 高校生向け研修を開催
- ◆ 津波会長が国土交通大臣表彰受賞



目次

<NEWS>

津波会長が国土交通大臣表彰を受賞……………	1
前田元副会長に叙位伝達 津波会長は大臣表彰受賞を報告 ……	1
沖縄防衛局に受注機会拡大を要請……………	2
西川労働局長と雇用環境で意見交換……………	3
沖縄振興局の望月局長が協会を表敬……………	4
沖総局の畠中次長、荻堂次長が表敬……………	4
新入社員研修で建設業のIT活用について広く学ぶ……………	5
青年部会がフォトコンテストの応募呼びかけ……………	5
Safe-Work 運動で建設現場をパトロール……………	6
各労基署と建災防各分会が官民合同安全パトロール……………	7
支部活動報告……………	8
國場組が優勝 那覇支部ソフトボール大会	
那覇支部が恒例の防犯パトロール実施	

<メッセージボード>

沖縄県建設業 Safe-Work 運動（令和4年度版）……………	9
----------------------------------	---

<お知らせ>

教えてください！我が社の働きやすい職場づくり……………	11
建労センターをご利用ください……………	12
西日本建設業保証からのお知らせ……………	13

<建設雇用改善推進コーナー>

人材開発支援助成金の案内……………	14
-------------------	----

<Message 後輩たちへ>……………

<事務局から>

協会の動き……………	16
今後の日程……………	16

<会員の異動>……………

〈表紙写真〉

【青年部会第13回フォトコンテスト
～島の魅力～優秀作品より】

〔造の部 優秀賞〕

題 名：七色の海上門

撮 影 者：寄川 貴博

撮影場所：那覇港

津波会長が国土交通大臣表彰を受賞

津波達也会長が令和4年度の建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰を受賞し、7月11日に国土交通省で表彰式が行われた。

企業の経営手腕と建設業界への長年の貢献が評価されての受賞。津波会長は「復帰50周年の節目の年に表彰されたことを嬉しく思っている。とても名誉なことで会員の皆さんのお陰。今回の受賞が後輩たちの励みになれば」と感想を述べた。

2020年の会長就任以来、建設業の働き方改革や人手不足の対策に加えて、豚熱や新型コロナウイルスへの対応など多くの課題に向き合ってきたことについて「課題を解決することで業界が良くなっていくと考えて、皆さんの力を借りながら、しっかり取り組んでいく」と決意を語った。



大臣表彰を受賞した津波会長

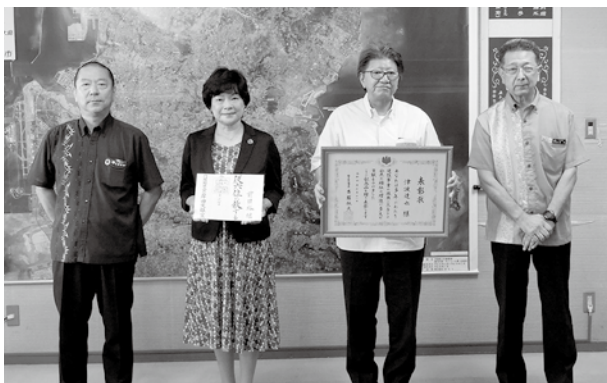
前田元副会長に叙位伝達

津波会長は国交大臣表彰受賞を報告

4月に逝去した前田裕継元副会長(株)ゆがふホールディングス・代表取締役CEO、(株)屋部土建・元代表取締役社長)への叙位伝達式と津波達也会長の令和4年建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰の受賞報告が7月28日、県庁の土木建築部長室で執り行われた。

伝達式では島袋善明土木建築部長から、ゆがふホールディングスの前田貴子代表取締役社長に叙位が記された岸田文雄首相からの位記を伝達。続いて、7月11日に国交大臣表彰を受賞した津波達也会長の受賞報告が行われた。

島袋部長は「前田様と津波様は長年、事業に精励されるとともに、関係団体の役員を歴任して業界組織の地位向上と発展に貢献した業績が認められての受賞と理解している。前田様のご遺族の皆様にご敬意を表すとともにご健勝をお祈りしたい。津波様には日ごろから土木建築行政にご協力いただいている。今後のご活躍と建設業界発展に向けたご活躍を期待している」と挨拶した。



(左から)島袋部長、前田社長、津波会長、金城学土木企画統括監

父でもある前田裕継氏の功績について、前田社長は「銀行員の経験やノウハウを経営に活用したと聞いている。こうして叙位をもらって、改めて父が亡くなったことを実感している。叙位をいただいたことをしっかり仏前に報告したい」とお礼を述べた。津波会長は「協会では若くして理事に就任し、復帰前後から様々な課題解決に取り組み、現在の礎を整えてくれた」と振り返った。

沖縄防衛局に受注機会拡大を要請

政府調達で地元重視対応の検討求める



太田部長(中央)に要請を行った

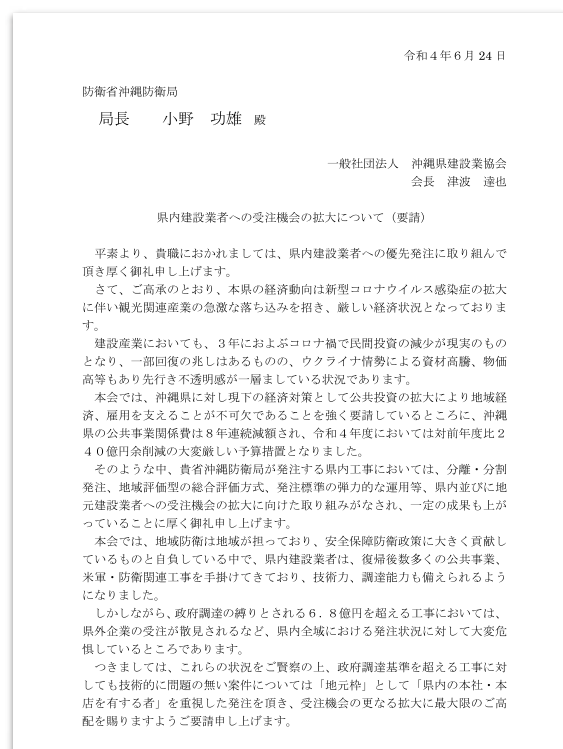
津波達也会長、新里英正副会長、仲本豊副会長、呉屋明副会長は6月24日、嘉手納町の沖縄防衛局を訪ね、小野功雄局長宛てに「県内建設業者への受注機会の拡大について」の要請を行った。

要請には沖縄防衛局の太田誠二調達部長が対応。津波会長は民間投資の減少と振興予算及び公共投資削減に加えて、資材高騰や物価高で先行き不透明感が増していると指摘。一方で防衛局の地元建設業者への受注機会拡大の取り組みに対して謝意を示した。

津波会長は「県内建設業者は公共事業、米軍・防衛関連工事を数多く手がけて、技術力・調達能力も備えている。しかしながら、政府調達対象となる6.8億円を超える工事は県外企業の受注が散見され、大変危惧している」として政府調達基準額を超える工事について「地元枠」として県内に本社・本店を有する者を重視した発注による受注機会の拡大を求めた。

要請に対して太田調達部長は「地元企業の受注機会確保、拡大は重要だと考えている。要請された工事については、政府調達協定に基づいて手続きを行っているため、地域的要件を設けることは

難しい」と回答。さらに最近の受注状況などを紹介しながら、より多くの地元企業に実績を積んでいただけるように単体ではなくJVでの入札参加が有効との考えを示した。



西川労働局長と雇用環境で意見交換

建設業の魅力伝える取り組みで連携も確認



西川局長（左）と意見交換を行った

沖縄労働局の西川昌登局長が6月24日、協会を訪れて県内における労働行政や雇用状況などを報告。津波達也会長と建設業の求人拡大に向けた取り組みを進めていくことを確認した。

西川局長は、県内の新規求人倍率や有効求人倍率の推移などを示して、県内5カ所のハローワークで求人が増加してきているとし、中でも名護、宮古、八重山では1倍を越えるほどの回復状況にあると指摘。中でもDX関連の業種での増加が顕著となっていると説明した。労働災害の件数については、発生件数が過去最高の発生状況にあるなか、建設業は減少傾向にあると指摘。そのうえで、依然として死亡災害の防止と健康管理が課題と強調した。

西川局長は建設関連の求人について、建設業を敬遠する理由として「採用基準が厳しい」「経験者しか採用されない」「長く勤めることができない」が挙げられているとし、求人応募があった企業は「資格・経験を問わない」「資格取得を支援する制度がある」といった特徴があるとした。また、生涯所得では観光関連・サービス業などよりも高くなっており、その点を伝えていく必要性を指摘した。このほか「建設業＝危険」というイメージの改善を積極的に進めていくことも重要とした。

その後の意見交換では、今年度の工事の受発注状況について質問があり、津波会長は「民間は



西川局長（左）と津波会長

確かに落ち込んだが公共は横ばいで推移してきた。県に対しても公共投資の確保を再三お願いしてきたが、今年度は沖縄振興予算が減少しておりその影響が懸念される」と回答。今後の見通しとして民間・公共ともに落ち込んでいくことは避けられないとの見方を示した。また、土木を中心としている企業ほど、公共事業の落ち込みの影響が大きいことも指摘した。

人手不足について津波会長は、発注が一時期に集中することによる影響が大きかったが、協会として発注の平準化を求めた活動を展開したことで改善されてきていると説明。また、DX関連の求人が増えている点については、建設業もDXやICTが進み、若い人の方が入りやすい環境になっているとし、2024年度からは残業時間への規制が始まることから、ITを活用した業務の改善・効率化が必須となるとの考えを示した。

西川局長は沖縄労働局として、人手不足が続いている建設業、ホテル・宿泊関連、介護・福祉業界の魅力をもっとPRする動画を製作して、就職活動中の人に幅広く訴えていく取り組みを進めていることを説明。今後、協会が独自に進めている職業紹介の冊子なども確認して、より多くの求職者に建設業の魅力伝えていくことを確認した。

沖縄振興局の望月局長が協会を表敬

内閣府沖縄振興局の望月明雄局長が就任挨拶で7月5日、協会を表敬訪問。津波達也会長、新里英正副会長、呉屋明副会長が対応した。

7月1日付で沖縄振興局長に就任した望月局長は「沖縄に向かう飛行機や空港では賑わいを感じた」と述べた。津波会長は「観光産業が落ち込むと県経済は厳しい。ウィズコロナを見据えた働き方を考えていかないといけない」と述べた。望月局長は「コロナが再び拡大する前に挨拶ができて安心している」と笑顔を見せた。



協会を訪れた望月局長(中央)

沖総局の畠中次長、荻堂次長が表敬

公共事業や防災ネットワークの重要性確認

沖縄総合事務局次長(開発建設担当)に就任した畠中秀人氏(6月28日付)が7月4日、同局次長(総務等担当)に就任した荻堂信代氏(7月1日付)が7月22日にそれぞれ、協会を表敬訪問した。

畠中次長は、初めての沖縄勤務。津波会長は「品確法や総合評価落札方式がなかった頃は、工事を受注しても利益が上げられずに大変だった。最低制限価格制度にも救われた」と話し、畠中次長は「必要なものにはお金をかけて造るべきであり、同時に企業は利益を出さなければいけない」と述べた。

津波会長は品確法等の運用が市町村に十分に浸透していないと指摘。畠中次長は「できるだけ首長と直接話して改善を求めていく」と述べた。

沖総局で初めての女性部長を務めた荻堂次長は後任の水本圭祐総務部長とともに協会を訪問。沖総局の総務担当次長は防災業務を総括しており、津波会長は「資器材の多くが低地にあり、大きな津波に襲われると、資器材の確保が課題になる」と強調。高台の国有地や県有地を活用した倉庫の必要性を指摘した。荻堂次長は「災害時の危機管理に向けて、連携しながら検討していきたい」と答えた。



就任の抱負を語る畠中次長(左)



(左から)水本総務部長、荻堂次長、津波会長

新入社員研修で建設業のIT活用について広く学ぶ

協会会員企業の新入社員を対象にした「これからの建設業で求められるIT活用研修～日常業務で運用するクラウドやBCPの環境～」が7月15日に修了した。同研修は(株)ジーサクセスの北野雅史氏が講師を務め、建設業におけるIT化や建設業界で標準化すべきWindows運用環境など様々な最新情報を提供する内容。6月13日から17日及び7月11日から15日の10日間の日程で開催された。

今回の研修では、セキュリティ対策とメールの有効活用、PDFファイルの活用、現場で撮影した写真・動画の編集などについて研修したほか、ITやドローンを活用している企業なども紹介した。

7月15日の最終日には参加者一人ひとりが今後の夢や目標をプレゼンテーションした。北野氏は「これから仕事をしていくなかで夢が目標に切り替えられる瞬間がくる。その時にしっかりやってほしい」とエールを送った。参加者からは「小さい頃からPCを扱ってきたが、現場でも活用できる情報でとても勉強になった」「これから建設業に求められることを学ぶことができた。会社に戻ったらぜひ試



新入社員らがスキルアップについて学んだ



ITを中心に豊富な話題で指導する北野氏

してみたい」などの感想があった。

青年部会がフォトコンテストの応募呼びかけ

青年部会の大石根史部会長と徳元猛副部会長、安次富長邦広報委員長の3氏は7月20日、同部会が主催する「第14回フォトコンテスト～島の魅力～」の開催をPRするために沖縄総合事務局や沖縄労働局、沖縄県、新聞各社を訪問して作品応募を呼び掛けた。

同コンテストは、写真を通じて建設業界の理解等を図るために実施。応募期間は7月1日～9月9日までで、10月中旬に入賞作品を選定し、11月14日に県庁で表彰式を行う予定。募集テーマは、建設業で働く人々を題材にした「人の部」と建設業が造りだす構造物を題材にした「造の部」の2部門。各部門で最優秀賞(賞金5万円)、優秀賞(賞金2万円)、特別賞(賞金1万円、学生対象)などの優秀作品を選出する。詳細はホームページ(http://www.okikenkyo.or.jp/photo_contest.htm)に掲載。

大石根部会長は「フォトコンテストを通して、地域に根差した建設業の魅力を発信、PRしていきたい」と意気込みを語るとともに多くの作品の応募に期待を寄せた。



作品応募を呼び掛ける(右から)徳元副部会長、大石根部会長、安次富広報委員長

Safe-Work運動で建設現場をパトロール

労働局・沖総局・県・建災防が合同で実施



現場をパトロールする西川局長(右から2人目)ら

沖縄労働局・沖縄総合事務局・沖縄県土木建築部・建設業労働災害防止協会沖縄県支部による合同パトロールが7月5日、浦添市の県立陽明高校校舎改築工事現場で行われた。

パトロールは、沖縄県建設業Safe-Work運動の主唱者により実施されたもので、パトロールには沖縄労働局の西川昌登局長、沖総局開発建設部品質確保対策室の安次富長一総括技術検査指導官、県土木建築部技術・建設業課の大城稔副参事、建災防沖縄県支部の津波達也支部長らが参加した。

パトロールでは、校舎改築工事1工区を施工する(株)屋部土建・(株)南洋土建(株)高橋土建JVの米須哲夫作業所長が、校舎改築工事の1工区及び2工区、電気、機械、併行防音工事の電気、除湿換気の6つの工事内容などを紹介。各工区の進捗率を報告し、現場での安全対策や注意事項などの取り組み状況を説明した。

続いて、現場巡視を行い、屋上や各階を回って安全対策の実施状況などを確認した。巡視後の講評で西川局長は「非常に安全対策がしっかりとられた現場だと認識した。下請業者も交えた協議会を定期的に開催して、情報共有や安全管理をしっかりとっていると感じた」と評価した。

安次富指導官は道路工事を多く見てきた経験から、現場内の段差の解消と進行方向にある単管



複数の工事が進められている陽明高校校舎改築工事の現場端部の保護を指摘。大城副参事は狭い敷地で工夫しながら施工している点や屋上部では作業員がフルハーネスで作業していた点などを指摘・評価した。津波支部長は「現場での災害はヒューマンエラーに起因することが多いと感じており、日ごろのコミュニケーションで顔色や体調にも配慮して、工事が無事完了することを祈念している」と述べた。

このほか西川局長は「県内の建設業の労働災害の発生状況は長期的には減少傾向だったが、近年は微増となり、去年は死亡事故で6人が亡くなり、そのうち2人は熱中症で亡くなっている。災害防止の観点から、転落・墜落防止対策としてのハーネス使用をしっかりと遵守してもらいたい。また、熱中症対策として休憩・塩分の確保も徹底してもらいたい」と夏場を迎えて、さらに注意を喚起した。

各労基署と建災防各分会が官民合同安全パトロール

県内各地で現場を視察

7月1日から7日の全国安全週間に関連して、県内各地で官民合同安全パトロールが実施された。

各労働基準監督署の管内地区を対象に、建設業労働災害防止協会沖縄県支部の各分会担当者と連携して行われるもので、1日に宮古地区、6日に那覇・南部地区、中部地区、北部地区と八重山地区でパトロールが行われた。

1日の宮古地区のパトロールでは宮古労基署の津田太郎署長や建災防宮古分会(分会長・平良正樹宮古支部長)の会員ら12人が参加して島内の現場をパトロールした。6日の那覇・南部・浦添・西原地区では那覇労基署や那覇分会(分会長・長山宏那覇支部長)、南部分会(分会長・徳元猛南部支部長)、浦添・西原分会(分会長・名嘉太助浦添・西原支部長)から22人が参加。中部地区は沖縄労基署と中部分会(分会長・津波克守中部支部長)から12人、北部地区では名護労基署と北部分会(部会長・仲程俊郎北部支部長)から12人、八重山地区では八重山労基署と八重山分会(分会長・米盛博明八重山支部長)の12人がパトロールを実施した。

昨年県内では、休業4日以上労働災害が、1972年の本土復帰以降、最多となる1611件発生。死亡災害は大部分を建設業が占めていることから、パトロールでは今年安全週間のスローガンである「安全は 急がず焦らず怠らず」を念頭に、参加者がそれぞれの視点から現場を視察。十分な安全衛生対策が取られるよう指導を行った。パトロールでは三大災害(墜落・転落災害、建設機械・クレーン等災害、倒壊・崩壊災害)の防止対策などを確認した。

また、熱中症による死亡災害も建設業で発生していることから、夏場の熱中症発症リスクを抑え、熱中症による労働災害を防止することを目的に7月30日までを「STOP!熱中症クールワークキャンペーン」の重点取組期間としている。パトロールでは熱中症予防についても留意して視察を行い、改善箇所などの助言を行った。



那覇・南部・浦西地区でパトロールを行った



現場パトロールを行う中部地区の参加者



指差唱和を行う北部地区の参加者



宮古地区の参加者で指差唱和を行った



出発前に指差唱和する八重山地区の参加者

支部活動報告

■ 國場組が優勝 那覇支部ソフトボール大会

那覇支部(長山宏支部長)は7月16日、豊見城市の瀬長島野球場で第41回那覇支部ソフトボール大会を開催した。

コロナ対策の一環で、開会式や表彰式を簡略化して実施。大会には前回優勝の(株)鏡原組をはじめ14チームが参加した。

1回戦の試合中には突然の雨が降ったものの、参加者が協力して復旧作業を行い熱戦を再開。14チームから(株)國場組Aと金秀建設(株)が決勝進出。國場組Aが10-0で勝利して優勝した。

大会結果は次の通り。

【団体の部】

- ・優勝=(株)國場組A
- ・準優勝=金秀建設(株)

【個人賞の部】

- ・打撃賞=1位・比嘉惇(株)國場組)、2位・内間幹也(金秀建設(株))、3位・米倉拓輝(金秀建設(株))
- ・レディース賞=宮平奈美(株)國場組)、新里あいか(金秀建設(株))



優勝した國場組Aの皆さん



準優勝の金秀建設の皆さん

■ 那覇支部が恒例の防犯パトロール実施

那覇支部(長山宏支部長)は7月29日、恒例の防犯パトロールを実施した。

今回のパトロールは那覇市安里・松川周辺が対象。支部南分会のメンバー約20人のほか、那覇警察署生活安全課安全なまちづくり推進係の豊島貴男巡査部長も参加した。

那覇支部の防犯パトロールは那覇警察署との協定に基づき、2017年から那覇警察署や那覇地区防犯協会と協力・連携しながら実施しているもので、今回で16回目の開催。

防犯パトロールは夏休み期間中の子どもたちへの見守り活動を主としており、参加者は2班に分かれて地区内の学校周辺を巡回した。



パトロールに参加した皆さん

沖縄県建設業 Safe-Work 運動

沖縄労働局・内閣府沖縄総合事務局・沖縄県土木建築部

建設業労働災害防止協会沖縄県支部

1 趣旨(抄)

沖縄経済が着実に成長してきており、建設投資も増加する一方で、就業人口が減少する等の課題を抱える中、安全管理体制もそれに見合った万全なものとする必要があり、建設業界の取組を加速させ、労働行政、建設行政が共にこれを指導援助していく必要がある。

建設業は地域経済と雇用の礎であり、基幹インフラの整備など社会的役割を担う建設業の健全な発展のため、厚生労働省沖縄労働局、内閣府沖縄総合事務局、沖縄県土木建築部、建設業労働災害防止協会沖縄県支部は、関係者の協賛・賛同のもと、新たに「沖縄県建設業 Safe-Work 運動」を主唱し、建設業の安全を追求する。

2 スローガン

安全・健康に働くことができる 建設現場の実現

3 取組期間

平成30年5月22日～令和4年度末

4 主唱者

沖縄労働局、内閣府沖縄総合事務局、沖縄県土木建築部、建設業労働災害防止協会沖縄県支部

5 協賛者

一般社団法人沖縄県建設業協会、一般社団法人沖縄県中小建設業協会、沖縄県建設事業協同組合
沖縄県鷹土工業会、全建総連沖縄県建設ユニオン、沖縄基礎工業協同組合
一般社団法人日本クレーン協会沖縄県支部、一般社団法人沖縄県電気管工事業協会
一般社団法人日本塗装工業会沖縄県支部、沖縄県左官業組合連合会
一般社団法人沖縄県造園建設業協会、沖縄県管工事業協同組合連合会、沖縄県電気工事業工業組合
沖縄県解体工事業協会、公益社団法人建設荷役車両安全技術協会沖縄県支部
沖縄県クレーン事業協同組合、西日本圧接業協同組合沖縄ブロック、協同組合沖縄県鉄構工業会
一般社団法人沖縄県磁気探査協会、一般社団法人沖縄県農林水産土木建設会
沖縄県生コンクリート工業組合、一般社団法人沖縄県舗装業協会
西日本高速道路株式会社九州支社沖縄高速道路事務所

6 主唱者・協賛者の主な実施事項

- ① 「沖縄県建設業 Safe-Work 運動」の周知・広報を行う。
- ② 安全パトロールを行う。
- ③ 安全作業のキャッチフレーズである「Safe-Work」のロゴを沖縄労働局ホームページで公開し、事業者の活用を促進する。
- ④ 安全大会、安全講習会を開催する。
- ⑤ 安全活動の「見える化」を促進する。
- ⑥ 事業場が行う安全活動を支援援助する。

事業者・作業者の皆様へ

- ① 代表者による災害防止の重点対策の公表を行い、安全管理体制を強化しましょう。
- ② 建設現場等への「Safe-Work」の掲示や、Safe-Work ステッカーを安全帽へ貼付する等により労働者の安全意識の啓発を図りましょう。
- ③ 元請け事業者は統括管理を徹底しましょう。
- ④ 墜落・転落災害防止対策、熱中症予防対策を徹底しましょう。
- ⑤ 規格に適合したハーネス型墜落制止用器具の使用を徹底しましょう。
- ⑥ 新規入場者教育を行いましょう。
- ⑦ 「見える化」等工夫した安全活動を行いましょう。



災害防止重点事項

1 建設機械対策の徹底(共通)

・クレーン転倒災害防止 ・特定自主検査他法定点検の実施 ・立入禁止区域の設定、誘導者等の配置

2 墜落・転落災害防止対策の徹底(共通)

「足場からの墜落・転落災害防止総合対策推進要綱」の推進を図り適正な足場の設置、スレート屋根、作業床の設置が困難箇所での災害防止対策、脚立、はしご等の適正な使用方法を指導する。また、ハーネス型安全帯の普及促進を図る。

3 熱中症予防対策の徹底(共通)

「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」により熱中症予防対策に取り組み、WBGT 値の測定及び WBGT 値に応じた予防対策の実施を徹底する。

4 新規入場者教育の徹底(元請)

作業員の不安全行動を防止するため安全教育を徹底する。

ステップアップ標語

「墜落制止用器具 規格ヨシ！ フック掛けヨシ！」

令和4年度版

お知らせ

教えてください！我が社の働きやすい職場づくり

Q
A



職場の働き方改革、どんなことやっていますか？

(株)呉屋組
呉屋 仁さん



- ・仕事の円滑化を図るため、現場での3Dシステム活用や電子決裁(社内)を行い、DX化を進めています。
- ・高校生インターンシップの受け入れを推進して、若い人の考え方や意見が聞こえるように努めております。
- ・年休取得を推進しており、連続した休みを取るように声掛けを行っています。



健康管理や福利厚生、何かやっていますか？

- ・社員全員へ空調服を支給し、熱中症や体調不良にならないように努めています。
- ・人間ドックの実施確認や二次検診の受診を推進しています。
- ・コロナ感染が即時確認できる抗原検査キットを現場へ配布しています。



社員向けの支援など、どんなことやっていますか？

- ・育児休業制度があり、休みを取りやすい環境にしています。
- ・資格取得を目指せるように費用負担をし、積極的に社員へ声掛けや申し込みをしています。
- ・現場でのコミュニケーションの一環として釣りイベントを行っています。



ありがとうございました！



目的

会員企業の従業員家族にPR活動を推進し、身内から建設業の入職者を増やす活動を展開し、会社の役割や楽しさを伝え、各社が働きやすい職場づくりを拡大することで、一層建設業の魅力を発信し、担い手の確保に取り組みます。

お知らせ

建労センターを ご利用ください

会議や研修会、セミナー、試験、面接、安全大会にご利用いただけます

様々なニーズに対応できるお部屋をご用意しています



大研修室(3階)

収容人数 80名(2名掛け最大)※

室料 14,300円(税込)～



第1・第2研修室(2階)

収容人数 40名(2名掛け最大)※

室料 8,800円(税込)～



特別会議室(1階)

収容人数 8名(テーブル固定)※

室料 4,400円(税込)～

注意1) 料金は税込になります。冷暖房を使用するには別途、冷暖房利用料金が発生いたします。
注意2) 付帯設備をご利用の場合は、「室料」「冷暖房利用料金」とは別に、付帯設備利用料金が発生いたします。
※感染症拡大防止のため、現在は定員を半数に制限しております。

建労センターの特徴

低価格な
料金設定



多目的な
利用が可能



土日祝日の
利用も可能



ネット環境
充実
(有線・無線)
※有料



各種設備
(マイク、プロジェクターなど)
貸出可能



レストラン併設
(土日祝日は要相談)



センターの施設概要、利用上の注意事項、利用料金などはコチラからご確認いただけます

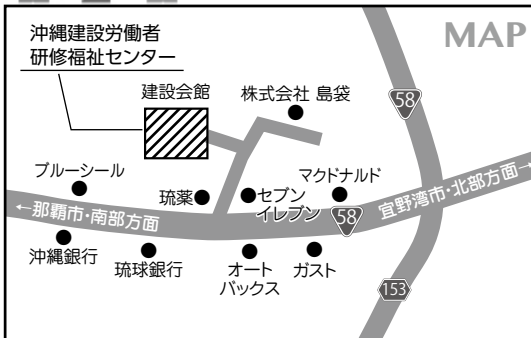


名称 沖縄建設労働者研修福祉センター
略称 建労センター
所在地 〒901-2131 沖縄県浦添市牧港5-6-7 建設会館隣
連絡先 TEL 098-876-6167
FAX 098-870-4565

施設利用可能時間 9:00～21:00
予約受付時間 8:30～17:00(土日祝日・年末年始除く)

お問い合わせいただく前に利用上の注意事項、利用料金、
申込書などを下記よりご確認ください

http://www.okikenkyo.or.jp/kenrosenta/kennsenta_top.htm



沖縄県内の公共工事動向 (令和4年6月分)

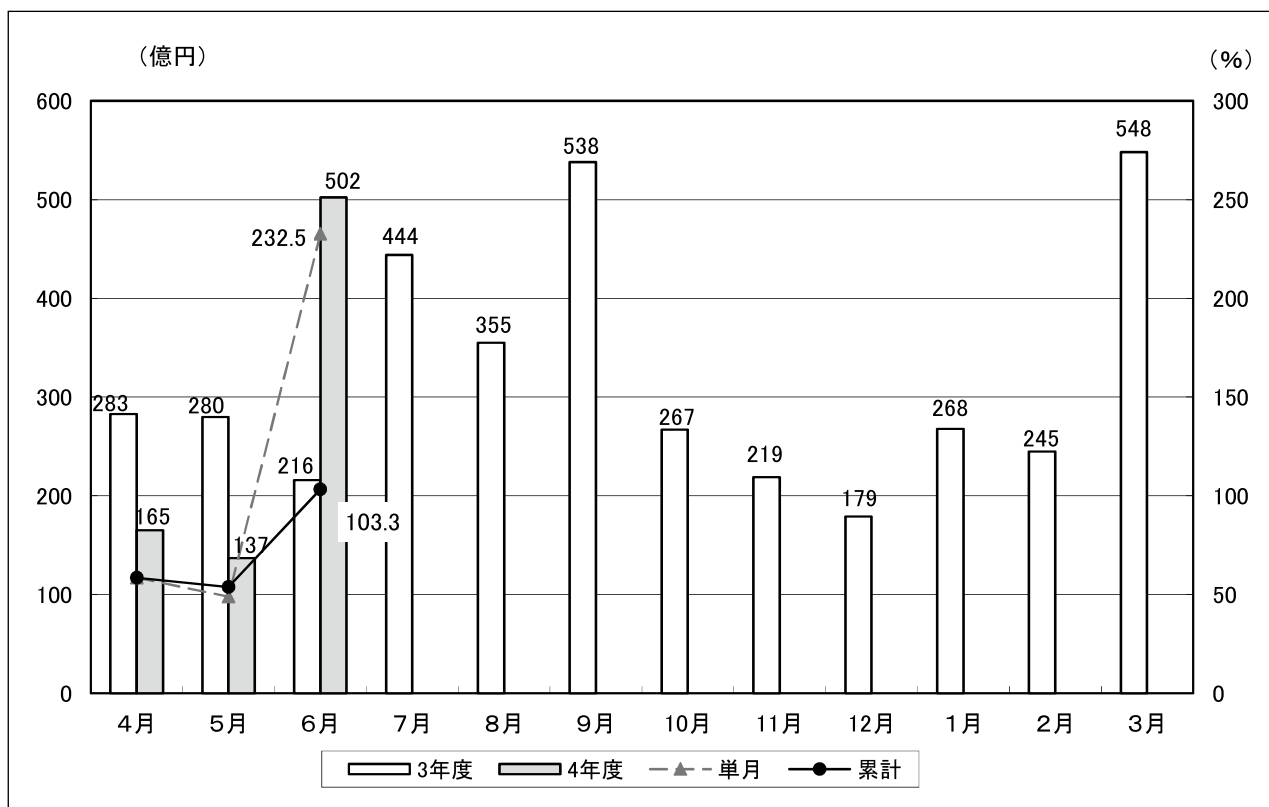
西日本建設業保証 (株) 沖縄支店

▼ 概況

(単位：件、百万円、%)

	当 月		前年同月比		累 計		前年同期比	
	件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額
国	38	22,316	92.7	338.5	97	26,933	89.8	100.5
独立行政法人等	6	14,437	300.0	<	8	17,468	72.7	509.3
沖縄県	58	4,611	86.6	78.9	169	15,823	88.0	93.4
市町村	134	6,708	97.1	73.0	239	12,304	81.0	47.1
その他	14	2,157	155.6	-	40	8,026	133.3	168.9
令和4年度	250	50,231	97.3	232.5	553	80,557	86.9	103.3
令和3年度	257	21,608	77.4	72.1	636	78,017	94.9	107.8
令和2年度	332	29,970	112.5	144.5	670	72,391	100.0	123.1
令和元年度	295	20,741	94.9	81.9	670	58,825	104.9	92.0
平成30年度	311	25,324	96.0	75.1	639	63,971	93.8	93.5

▼ 月別請負金額、単月・累計前年対比の推移



人材開発支援助成金の案内

人材開発支援助成金は、労働者の職業生活設計の全期間を通じて段階的かつ体系的な職業能力開発を効果的に促進するため、事業主等が雇用する労働者に対して職務に関連した専門的な知識及び技能の習得をさせるための職業訓練などを計画に沿って実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成する制度です。企業の人材育成と労働者の職業能力開発のために、ぜひ、ご活用ください。

～申請の前に～

事業主は、職業能力開発促進法第8条において、その雇用する労働者の多様な職業能力開発の機会の確保について配慮するものとする、とされています。職業能力開発促進法では、それら労働者に関する職業能力の開発及び向上が段階的かつ体系的に行われるよう、「**職業能力開発推進者**」の選任と「**事業内職業能力開発計画**」の策定を、事業主の努力義務としています。

人材開発支援助成金では、従業員の計画的な職業能力開発に取り組む事業主等を支援するため、この「**職業能力開発推進者**」の選任と「**事業内職業能力開発計画**」の策定をしている事業主等を対象としていますので、**訓練実施計画届の提出までに選任・策定を行っていることが必要です。**

※選任・策定後の内容の変更に係る届出等は不要です。

人材開発支援助成金

特定訓練コース … 若年者に対する訓練、労働生産性の向上に資する訓練など、効果が高い10時間以上の特定の訓練や、「OJT」と「OFF-JT」を組み合わせた訓練を行った場合に支給される助成コースです。各コースの詳しい要件等は下記・お問い合わせ先にご確認ください。

- ①労働生産性向上訓練
- ②若年人材育成訓練
- ③熟練技能育成・承継訓練
- ④グローバル人材育成訓練

OFF-JT

(OFF the Job Training)により行われる訓練

事業活動と切り離して座学などにより行う訓練で、**事業内訓練または事業外訓練**で計画する必要があります。

- ⑤特定分野認定実習併用職業訓練
- ⑥認定実習併用職業訓練

雇用型訓練

OJTとOFF-JTを効果的に組み合わせて実施する訓練

実習併用職業訓練として**厚生労働大臣の認定**を事前に受けておく必要があります。

お問い合わせ先

沖縄労働局職業安定部
職業対策課
助成金センター
TEL：098-868-1606
FAX：098-868-1612

一般訓練コース … 職務に関連した知識・技能を習得させるための20時間以上のOFF-JT訓練を行った場合(特定訓練コースに該当するもの意外)に支給される助成コースです。

支給対象となる訓練		経費助成		賃金助成 (1人1時間当たり)		OJT実施助成 (1人1時間当たり)	
			生産性要件を 満たす場合		生産性要件を 満たす場合		生産性要件を 満たす場合
特定訓練コース	OFF-JT	45% (30%)	60% (45%)	760円 (380円)	960円 (480円)	—	—
	OJT	—	—	—	—	665円 (380円)	840円 (480円)
一般訓練コース	OFF-JT	30%	45%	380円	480円	—	—

※認定実習併用職業訓練において、建設業、製造業、情報通信業の分野(特定分野)の場合は経費助成率が60%、生産性を満たす場合は75%となります。

〈各コースの申請期限〉

○訓練実施計画(訓練様式第1号)

→訓練開始日から起算して1カ月前までに提出するようお願いいたします。(厳守)

例：訓練開始日が7月1日である場合、6月1日が提出期限

訓練開始日が7月15日である場合、6月15日

訓練開始日が7月31日である場合、6月30日(6月31日がないためその前日)

訓練開始日が9月30日である場合、8月30日(前月の同日が期限)

訓練開始日が3月29日、30日、31日である場合、いずれも2月28日(閏年は2月29日)

※新たに雇い入れた被保険者のみを対象とした訓練等雇い入れ日から訓練開始日までが1カ月以内である訓練等の訓練実施計画届の提出期限については、訓練開始日から起算して原則1カ月前です。

※訓練実施計画届提出時において、提出が困難な添付書類がある場合は、その旨を申し出た上で訓練開始日の前日までに提出して下さい。

Message ～後輩たちへ～

教えられたことを1つずつ、確実に覚える

私は去年入社して、初めて現場に配属されたときは、やること全部がわからないことだらけで、自分にはできるのかなと不安になることもありました。

でも、先輩から教えられたことを1つずつ確実に覚えて、わからないことがあれば何回でも先輩方に質問などして、もし困ったことがあれば相談することが大切だと思います。

これから大変なことや学んでいくことが、色々あると思いますが一緒に頑張っていきましょう。

担当した現場



現場名：トリイ(3)北側護岸(1402)新設土木工事
今は、安全管理と写真管理です。一番印象に残っているのは、安全管理です。現場内に危険な箇所があったらその日で確実に注意喚起の看板やロープを張って作業員に知らせているのが一番印象に残っています。



沖縄工業高等学校出身
高江洲 一星さん(19歳)
(株式会社太名嘉組 土木部)

たかえす・いっせい/那覇市出身/
2021年3月沖縄工業高校土木科卒業
/2021年4月株式会社太名嘉組入社

入職のきっかけ：小さい時に父が現場職に就いていて、それを見て自分も道路や建物を作りたいと思い現場監督の職を選びました。

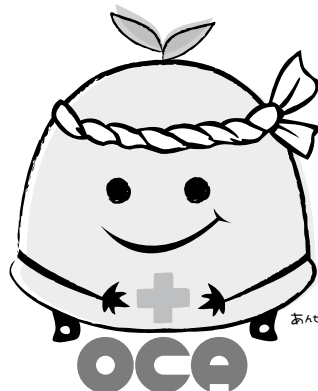
将来の夢：施工管理の資格を取得して、現場でのことをなんでも任せられるようになりたい。

休日の過ごし方：友達と遊んだり、体を動かすこと。

沖建協「見える化」イメージアップキャラクター

「あんぜんぼーや」を現場へつれてって!!

地域と共に、未来を築く



Okinawa General
Contractors
Association

あんぜんぼーや

私たちは、沖縄県建設業協会会員です。

一般社団法人 沖縄県建設業協会
Okinawa General Contractors Association



建設業界のイメージアップと沖縄県建設業協会会員の「見える化」を図るため、協会のイメージアップキャラクター「あんぜんぼーや」のシールを作成しました。(A4サイズ、A3サイズ)

協会会員が施工する建設現場の入り口など人目に触れる機会の多い場所に貼って、協会会員であることを示すPR活動に使用してください。

追加で必要な場合は、所属支部窓口で配布します。

2022年7月の動き

日	曜	沖建協・建産連・土木技士会・青年部会等	その他会議・講習会等
1	金	【延期】沖建協「工業高校生現場見学会(沖縄工業・建築科)」(浦添市内)	
4	月	・沖建協「支部長会」(建労センター)	
6	水		・建設業振興基金「建設業経理事務士3級特別研修(一般向け)」~7/8(金)迄(浦添市)
7	木		・土木学会西部支部沖縄会「幹事会」(Web)
11	月	・沖建協「新入社員対象IT活用研修」~7/15(金)迄 (建労センター)	・令和4年建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰式典 (東京都) ・総合事務局「防災訓練」(Web等)
13	水	・沖建協「総合企画委員会」(建労センター)	・沖縄県「沖縄県総合防災訓練に係る部隊運用・医療訓練部会、インフラ復旧(道路啓開)訓練部会」(Web)
15	金	・沖建協「県土建部と格付についての意見交換会」(県庁)	
20	水		・沖縄県「新型コロナウイルス感染症の影響に係る経済対策関係団体会議(本会議)」(Web)
21	木		・建退共本部「加入促進対策委員会」(東京都) ・沖縄県建設業企業年金基金「代議員会」(浦添市)
25	月	・沖建協「工業高校生対象建設業経理事務士4級特別研修」~7/26(火)迄(建労センター) ・沖建協「工事総合補償制度運営委員会」(沖建協委員会室)	・国交省「ブロック別CCUS連絡会議」(Web) ・沖縄しまたて協会「技術開発支援選定委員会」(浦添市) ・沖縄労働局「建設工事関係者連絡会議」(那覇市)
26	火	・沖建協「工業高校生対象小型車両系建設機械運転特別教育」~7/27(木)迄(海邦町センター)	・全建「建設業社会貢献活動推進月間中央行事」(東京都) ・美ら島おきなわ文化祭2022沖縄県実行委員会「総会」 (那覇市)
27	水		・沖縄県経済団体会議「幹事会」(那覇市)
28	木	・沖建協「工業高校生対象小型車両系建設機械運転特別教育」~7/29(金)迄(海邦町センター)	・前田裕継氏叙位叙勲受章伝達および津波会長大臣表彰受賞報告(那覇市)
29	金		【中止】建設業福祉共済団「事業推進戦略会議」(東京都) ・沖縄県防衛協会「三役会」(那覇市) ・全国建設青年会議「全国大会準備会」(広島県) ・沖縄県緑化推進委員会「定時総会」(那覇市)

2022年8月の行事予定

日	曜	沖建協・建産連・土木技士会・青年部会等	その他会議・講習会等
1	月	・沖建協「地域別産学懇談会(沖縄職安管内)」(中部建設会館)	
2	火	・沖建協「工業高校生対象小型車両系建設機械運転特別教育」~8/3(水)迄(宮古総合実業、先嶋建設ヤード) ・沖建協「地域別産学懇談会(名護職安管内)」 (北部建設会館)	
3	水	・沖建協「地域別産学懇談会(那覇職安管内)」 (建労センター) ・沖建協「建設委員会」(建労センター)	
4	木	・沖建協「工業高校生対象小型車両系建設機械運転特別教育」~8/5(金)迄(海邦町センター) ・沖建協「地域別産学懇談会(宮古職安管内)」 (宮古建設会館)	

事務局から

日	曜	沖建協・建産連・土木技士会・青年部会等	その他会議・講習会等
5	金	・沖建協「地域別産学懇談会(八重山職安管内) (八重山建設会館)」	・沖縄県生コンクリート品質管理監査会議(那覇市) ・九経連「沖縄連携フォーラム」(那覇市)
8	月	【中止】沖建協「工業高校生対象小型車両系建設機械運転特別教育(八重山地区)」～8/9(火)迄	・第7回世界のウチナーンチュ大会実行委員会事務局「実行委員会」(那覇市) ・九建協「労務対策委員会」(鹿児島県) ・九州地区土木技士会「通常総会」(福岡県)
16	火	・沖建協「正副会長会議」(ナハテラス) ・沖建協「役員会」(ナハテラス)	
22	月	・沖建協「建設キャリアアップシステム事業者登録会(那覇支部)」(建労センター) ・建産連「役員会」(ナハテラス)	
23	火	・沖建協「建設キャリアアップシステム事業者登録会(南部、浦西支部)」(建労センター) ・沖建協「建設キャリアアップシステム事業者登録会(中部支部)」(建労センター)	
24	水	・沖建協「工業高校生対象建設業経理事務士3級特別研修」～8/26(金)迄(建労センター) ・沖建協「建設キャリアアップシステム事業者登録会(北部支部)」(北部雇用能力総合センター)	・九建協「土木委員会」(鹿児島県)
25	木	・沖建協「建設キャリアアップシステム事業者登録会(八重山支部)」(八重山建設会館)	・沖縄県「沖縄県建設工事従事者安全健康確保推進会議」(那覇市) ・九建協「建築委員会」(鹿児島県)
26	金	・沖建協「建設キャリアアップシステム事業者登録会(宮古支部)」(宮古建設会館)	
31	水		・九建協「専務・事務局長会議」(福岡県)

[8月号会員の異動]

代表者・所在地・組織等

ページ	支部名	会社名	変更事項	変更前	変更後
P45	宮古	(有)丸嘉テック	郵便番号 所在地	〒906-0012 宮古島市平良字西里 881-7 102	〒906-0006 宮古島市平良字西仲宗根 689-6(1F)

※「2022会員名簿」修正済み

沖建協会報 2022年8月号(第627号)
令和4年8月1日発行
発行人 源河 忠雄

発行所 一般社団法人 沖縄県建設業協会
〒901-2131 沖縄県浦添市牧港5-6-8
TEL.098(876)-5211
FAX.098(870)-4565
編集 株式会社沖縄建設新聞

建退共制度のご案内

この制度は、建設現場で働く方々のために、「中小企業退職金共済法」という法律により国が作った退職金制度です。

事業主の方は、現場で働く方々の共済手帳に働いた日数に応じて、掛金となる共済証紙を貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに、建退共から退職金を支払うといういわば業界全体での退職金制度です。

I. 退職金の予定運用利回り掛金日額の変更について

新型コロナウイルス感染症拡大に端を発する金融市場の大幅な変動等により、建設業退職金共済制度の累積剰余金が減少し、今後も厳しい状況が見込まれていることから、中小企業退職金共済法第85条において検討することとされている、建設業退職金共済制度の退職金額に係る予定運用利回りの見直し等について、労働政策審議会勤労者生活分科会中小企業退職金共済部会において検討されました。

そこで、運用利回りの見直しについては、制度の魅力を維持しながら、できるだけ制度の安定的な運営を図るべく、予定運用利回りを現行の3.0%から1.3%に引き下げることとなり、その際、制度の魅力を損なわないように掛金日額を10円引き上げて320円とすることも併せて決定されました。

II. 公共工事における建退共制度の履行確保について

1. 電子申請方式の推進

電子申請方式は、掛金の納付状況が共済契約者及び労働者ごとに毎月正確に把握できるため、掛金の納付実態が透明化され、適正な掛金納付の推進に寄与するものであることから、電子申請方式の普及及び利用促進を図る。

2. 建退共対象労働者の的確な把握と対象労働者に対する確実な掛金充当の推進

共済契約者が建退共対象労働者数を的確に把握するため、従来実務上使用される例のあった「辞退届」に代わるものとして、機構が「建設業退職金共済制度加入労働者数報告書」の様式を定める。

3. 履行確認の強化等

(1) 受注者は、掛金収納書の提出用台紙(新設)に当該工事における共済証紙購入の考え方を記載し、発注者に提出するものとする。

(2) 受注者は、工事完成後、労働者延べ就業日数、建退共の掛金充当日数等を示す「建設業退職金共済制度掛金充当実績総括表」(新設)を発注者に提示するものとする。

(3) 受注者は、工事完成後1年間、次の①、②及び③の資料を事務所に備え付けるものとする。資料の事務所への備え付けは、電磁的記録をもって行うことができるものとする。

①建設業退職金共済制度掛金充当実績総括表

②建退共の掛金充当状況を示す資料

イ 電子申請方式の場合：機構が発行する掛金充当書

ロ 証紙貼付方式の場合：工事別共済証紙受払簿(新設)並びに建退共制度に係る被共催者就労状況報告書及び建設業退職金共済証紙貼付状況報告書

③労働者の就労状況を示す資料

作業員名簿(CCUSを活用すれば、作業員名簿は容易に作成可能)

4. 実施時期

履行確認の強化等については、令和3年4月以降に発注される公共工事から実施する。なお、工事別共済証紙受払簿(新設)については、令和3年度内においては、受注者の準備が整い次第実施する。

国の制度 **6** つの特長

1 国の制度なので安全確実かつ簡単

2 退職金は企業間を通算して計算

3 国が掛金の一部を補助

4 掛金は損金扱い

5 経営事項審査で加点

6 電子申請で手続き可能

●お問い合わせは 〒901-2131 沖縄県浦添市牧港五丁目6番8号

建退共沖縄県支部 電話 098-876-5214

みんなで育てよう安心を。

労災上乘せ補償は

建設共済 保険

契約者に役立つ制度充実

掛金が魅力
手厚い補償
(5,000万円まで)

労働者と企業のリスクをカバー



「建設共済保険」以外にも、次のような事業を行っています。

育英奨学事業

被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ・更衣室導入費用の助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

公益財団法人

建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー11階
Tel.03-3591-8451 Fax.03-3591-8474

■ 取扱機関: (一社) 沖縄県建設業協会
〒901-2131 浦添市牧港5-6-8
Tel. 098-876-5211 Fax. 098-870-4565



契約者と業界の発展のために

<http://www.kyousaidan.or.jp/>

建設共済保険

検索

保証証書の電子化 電子保証のご案内

WEBで完結

令和4年5月
運用開始

Attention!!

「前払金保証」と「契約保証」の保証証書は、電子証書でのご提供が可能となりました。

対象発注者 国土交通省 ※対象は順次拡大予定

受取から提出にかかる時間の削減!! ↓ リモートワークにも対応! 業務効率アップ!! ↑

電子保証とは?

書面の「保証証書」に代わり「電子証書」(保証証書に記載する内容が記録されたデータ)を受発注者がインターネットを通じて確認することができる仕組みです。

ご利用の要件

- 1 発注者が電子保証に対応していること
- 2 お客様が「e-Net保証」を利用し保証申込まいただくこと

対象の保証証書

前払金保証(中間前払金を含む)及び契約保証
※契約保証予約は対象外



電子保証の仕組み

お客様



1 保証申込 (e-Net保証にて)

3 電子証書・認証キー登録のお知らせ

4 電子証書の確認・
認証キーの取得

Access

5 保証契約番号・認証キーの提出
(認証キー等のお知らせ)

保証契約番号
認証キー

発注者



6 電子証書の閲覧

Access

保証契約番号
認証キー

当社

インターネット保証サービス **eNet保証**

2 電子証書・認証キー※
(保証契約締結後に表示)

電子証書 保証契約番号
認証キー

※発注者がD-Sure(発注者用保証確認サービス)において
電子証書を閲覧するために必要となる暗証番号

D-Sure
(発注者用保証確認サービス)
nDN
日本電子認証(株)

電子証書

西日本建設業保証株式会社 <https://www.wjcs.net/>

西日本建設業保証

検索





阿部 華也子

暑さ対策、 忘れずに!

WBGT 値を意識しよう!



水分・塩分をこまめに取ろう!



休憩を適度に入れよう!



緊急時の対応を知っておこう!



体調管理はしっかりと!



STOP! 熱中症



クールワーク キャンペーン

2022年5月1日~9月30日 準備期間4月/重点取組期間7月

建設業労働災害防止協会

建設業労働災害防止協会

第14回 島の魅力

フォト コンテスト

沖縄県建設業協会青年部会

【作品応募期間：当日消印有効】
令和4年7月1日(金)▶9月9日(金)

【表彰式】
令和4年11月14日(月) 県庁ロビー1階



最優秀賞

賞金 **5** 万円



【テーマ】

「人」
の部

建設業で働く人々を題材にした作品【撮影場所：沖縄県内】
土木・建築・設備・その他の工事現場で「いきいきした姿」「人間味あふれる姿」「真摯な姿」働く人々をとらえた作品
★キーワード… 技能・技術・連携・安全・豊方・親睦・仲間・家族・笑顔・地域、等

「造」
の部

建設業が造りだす構築物を題材にした作品【撮影場所：沖縄県内】
沖縄県内で施工途中、又は既に竣工した構築物等「美しい様子」「存在感のある様子」「象徴的な様子」で街や人々のよりどころとなっている
★キーワード… 技術・工法・規模・雄大・デザイン・自然・街並・都市・調和、等

【賞】

各部門

最優秀賞 1点(賞状・賞金 5万円)
優秀賞 2点(賞状・賞金 2万円)
特別賞 1点(賞状・賞金 1万円)
(学生対象)
入選 10点(賞状・賞金 5千円)

みんなの公共 (建築・土木)賞

・建築賞(造の部) 2点(賞状・賞金 1万円)
・土木賞 1点(賞状・賞金 1万円)
・沖縄建設新鋭社長賞 1点(賞状・賞金 1万円)
・現場で働く美ら小町賞 1点(賞状・賞金 1万円)
(人部門より) ※入賞は各部門1人1点とします。

お問い合わせ先・応募先

沖縄県建設業協会青年部会 第14回 フォトコンテスト

一島の魅力 係

〒901-2131 沖縄県浦添市牧港5-6-8

TEL : 098-876-5211
FAX : 098-870-4565



http://www.okikenkyo.or.jp/photo_contest.htm

青年部会島の魅力 検索

主催：沖縄県建設業協会青年部会
後援：内閣府沖縄総合事務局・沖縄労働局・沖縄県・沖縄県
市長会・沖縄県町村会・NHK沖縄放送局
協賛：エフエム沖縄・沖縄銀行・沖縄海邦銀行・沖縄建設新
聞・沖縄県土木施工管理技士会・沖縄タイムス社・沖
縄テレビ放送・カメラのモリヤマ・(一社)公共建築
協会・ラジオ沖縄・琉球朝日放送・琉球銀行・琉球新
報社・琉球放送(五十音順)

大切な社員と会社を守りたい。

建設業に特化した共済保険

組合が安い
補償が厚い

法定外労務賠償制度

建設業員による法定外労務賠償制度が安い！

労務の管理負担が軽減
労務手続の負担が軽減
事業主(建設業員)への負担が軽減
高額・不測な労務賠償のリスクを軽減
建設業員に特化した15年の歴史

公益財団法人
建設業福祉共済団

建設業員(一社)沖縄建設業協会